

令和6年6月27日

盛岡 広域振興局長

提出者

住所 〒020-0693 岩手県滝沢市巣子152-52

氏名 公立大学法人岩手県立大学

理事長 千葉 茂樹

（法人にあつては、その名称及び代表者の氏名）

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

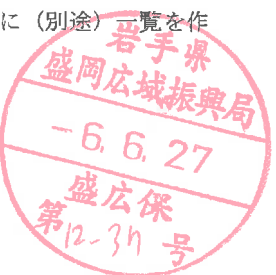
主たる工場又は事業場の名称	公立大学法人岩手県立大学	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県滝沢市巣子152-52	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	1,744 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
岩手県立大学	〒020-0693 滝沢市巣子152-52	1,652 kl
岩手県立大学宮古短期大学部	〒027-0039 宮古市河南1-5-1	62 kl
岩手県立大学地域連携棟	〒020-0611 滝沢市巣子152-89	30 kl

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

事業所全体(岩手県立大学・地域連携棟・宮古短期大学部)

エネルギーの種類		(5) 年度							
		エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量		E=B-D	二酸化炭素排出 量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭 素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二 酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
		数値 A	単位 B	数値 C	単位 D				
化石燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL		kL				
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL		kL				
	揮発油(ガソリン)		kL		kL				
	ナフサ		kL		kL				
	ジェット燃料		kL		kL				
	灯油	1.00	kL	37	kL	37	3	3	0
	軽油		kL		kL				
	A重油	825.00	kL	32,093	kL	32,093	2,271	2,304	-32
	B・C重油		kL		kL				
	石油アスファルト		t		t				
	石油コークス		t		t				
	石油ガス	10.00	t	501	t	501	30	39	-9
	液化石油ガス(LPG)		t		t				
	石油系炭化水素ガス		千m ³		千m ³				
	液化天然ガス(LNG)		t		t				
	その他可燃性天然ガス		千m ³		千m ³				
	石炭	輸入原料炭	t		t				
		原料炭	t		t				
		コークス用原料炭	t		t				
		吹込用原料炭	t		t				
		輸入一般炭	t		t				
		国産一般炭	t		t				
	輸入無煙炭		t		t				
	石炭コークス		t		t				
	コールタール		t		t				
	コークス炉ガス		千m ³		千m ³				
	高炉ガス		千m ³		千m ³				
	発電用高炉ガス		千m ³		千m ³				
	転炉ガス		千m ³		千m ³				
	その他の燃料	都市ガス	千m ³		千m ³				
		()	#REF!		#REF!				
	()		#REF!		#REF!				
非化石燃料	黒炭		t		t				
	木材		t		t				
	木質廃材		t		t				
	バイオエタノール		kL		kL				
	バイオディーゼル		kL		kL				
	バイオガス		千m ³		千m ³				
	その他バイオマス		t		t				
	RDF		t		GJ/t				
	RPP		t		GJ/t				
	廃タイヤ		t		GJ/t				
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t				
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t				
	廃油		kL		GJ/kL				
	廃棄物ガス		千m ³		千m ³				
	混合廃材		t		t				
	水素		t		t				
	アンモニア		t		t				
	その他燃料()								
小 計 ①						32,630	2,304	2,345	-41
熱	産業用蒸気		GJ		GJ				
	産業用以外の蒸気		GJ		GJ				
	温水		GJ		GJ				
	冷水		GJ		GJ				
	地熱		GJ		GJ				
	温泉熱		GJ		GJ				
	太陽熱		GJ		GJ				
	雪氷熱		GJ		GJ				
	小 計 ②								
	電気事業者①	3,725.00	千kWh	32,210	千kWh	32,210	1,778	1,846	-67
電気	電気事業者②※複数契約している場合使用		千kWh		千kWh				
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh		千kWh				
	自家発電	太陽光	千kWh		千kWh				
		水力	千kWh		千kWh				
		風力	千kWh		千kWh				
		その他	767.00	千kWh	2,761	2,761			
	小 計 ③					34,971	1,778	1,846	-67
合 計 ④=①+②+③						67,601	4,082	4,191	-109

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	1,744	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	4,082	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		4,082	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

岩手県立大学

エネルギーの種類		(5) 年度												
		エネルギーの使用量				販売したエネルギー使用量				F=B-D	二酸化炭素排出 量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭 素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二 酸化炭素排出 量 (t-CO ₂)	
		数値 A	単位 B	数値 C	単位 D	数値 E	単位 F							
化石燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL		kL									
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL		kL									
	揮発油(ガソリン)		kL		kL									
	ナフサ		kL		kL									
	ジェット燃料		kL		kL									
	灯油		kL		kL									
	軽油		kL		kL									
	A重油	817.00	kL	31,782	kL			41,782	3,249	2,271	-22			
	B・C重油		kL		kL									
	石油アスファルト		t		t									
	石油コークス		t		t									
	石油ガス	10.00	t	501	t			501	30	39	-9			
	液化石油ガス(LPG)		千m ³		千m ³									
	石油系炭化水素ガス		千m ³		千m ³									
	液化天然ガス(LNG)		t		t									
	その他可燃性天然ガス		千m ³		千m ³									
	石炭	輸入原料炭		t		t								
		原料炭		t		t								
		コークス用原料炭		t		t								
		吹込用原料炭		t		t								
		一般炭		t		t								
	輸入一般炭		t		t									
国産一般炭		t		t										
輸入無煙炭		t		t										
石炭コークス		t		t										
コールタール		t		t										
コークス炉ガス		千m ³		千m ³										
高炉ガス		千m ³		千m ³										
発電用高炉ガス		千m ³		千m ³										
転炉ガス		千m ³		千m ³										
その他の燃料	都市ガス		千m ³		千m ³									
	()		#REF!		#REF!									
()	()		#REF!		#REF!									
	()		#REF!		#REF!									
非化石燃料	黒液		t		t									
	木材		t		t									
	木質廃材		t		t									
	バイオエタノール		kL		kL									
	バイオディーゼル		kL		kL									
	バイオガス		千m ³		千m ³									
	その他バイオマス		t		t									
	RDF		t		GJ/t									
	RPF		t		GJ/t									
	廃タイヤ		t		GJ/t									
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t									
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t									
	廃油		kL		GJ/kL									
	廃棄物ガス		千m ³		千m ³									
	混合廃材		t		t									
	水素		t		t									
	アンモニア		t		t									
	その他の燃料()													
小 計 ①								32,283	2,279	2,310	-31			
熱	産業用蒸気		GJ		GJ									
	産業用以外の蒸気		GJ		GJ									
	温水		GJ		GJ									
	冷水		GJ		GJ									
	地熱		GJ		GJ									
	温泉熱		GJ		GJ									
	太陽熱		GJ		GJ									
	雪氷熱		GJ		GJ									
	小 計 ②													
電気	電気事業者①	3,356.00	千kWh	28,996	千kWh			28,996	1,601	1,643	-42			
	電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh		千kWh									
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh		千kWh									
	自家発電	太陽光		千kWh		千kWh								
		水力		千kWh		千kWh								
		風力		千kWh		千kWh								
		その他	767.00	千kWh	2,761	千kWh			2,761					
	小 計 ③							31,757	1,601	1,643	-42			
合 計 ④=①+②+③								64,040	3,880	3,953	-73			

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	1,652	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	3,880	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		3,880	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

(1)エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

5

(2)原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

(3) 温室効果ガスの総排出量

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(5)年度						地域連携					
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量			F=B-D	二酸化炭素排出 量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭 素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二 酸化炭素排出 量 (t-CO ₂)		
		数値 A	単位 B	熱量(GJ) C	数値 C	単位 D	熱量(GJ) D						
化石燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL			kL							
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL							
	揮発油(ガソリン)		kL			kL							
	ナフサ		kL			kL							
	ジェット燃料		kL			kL							
	灯油		kL			kL							
	軽油		kL			kL							
	A重油		kL			kL							
	B・C重油		kL			kL							
	石油アスファルト		t			t							
	石油コークス		t			t							
	石油ガス												
	液化石油ガス(LPG)		t			t							
	石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³							
	液化天然ガス(LNG)		t			t							
	その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³							
	石炭	輸入原料炭		t			t						
		原料炭		コークス用原料炭		t		t					
			吹込用原料炭		t		t						
		一般炭		輸入一般炭		t		t					
			国産一般炭		t		t						
		輸入無煙炭		t			t						
		石炭コークス		t			t						
		コールタール		t			t						
		コークス炉ガス		千m ³			千m ³						
高炉ガス			千m ³			千m ³							
発電用高炉ガス		千m ³			千m ³								
転炉ガス		千m ³			千m ³								
その他の燃料		都市ガス		千m ³		千m ³							
	()		#REF!		#REF!								
	()		#REF!		#REF!								
非化石燃料	黒炭		t			t							
	木材		t			t							
	木質廃材		t			t							
	バイオエタノール		kL			kL							
	バイオディーゼル		kL			kL							
	バイオガス		千m ³			千m ³							
	その他バイオマス		t			t							
	RDF		t			GJ/t							
	RPF		t			GJ/t							
	廃タイヤ		t			GJ/t							
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t							
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t							
	廃油		kL			GJ/kL							
	廃棄物ガス		千m ³			千m ³							
	混合廃材		t			t							
	水素		t			t							
	アンモニア		t			t							
その他燃料()													
小 計 ①													
熱	産業用蒸気		GJ			GJ							
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ							
	温水		GJ			GJ							
	冷水		GJ			GJ							
	地熱		GJ			GJ							
	温泉熱		GJ			GJ							
	太陽熱		GJ			GJ							
	雪氷熱		GJ			GJ							
	小 計 ②												
	電気事業者①	136.00	千kWh	1.175		千kWh		1.175	65	75	-10		
電気事業者② ※推奨契約している場合使用		千kWh			千kWh								
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh								
自家発電	太陽光		千kWh			千kWh							
	水力		千kWh			千kWh							
	風力		千kWh			千kWh							
	その他		千kWh			千kWh							
小 計 ③								1.175	65	75	-10		
合 計 ④=①+②+③								1.175	65	75	-10		

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	30	kL
--------------	----	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	65 t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素	t-CO ₂
メタンの排出量		t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量		t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量		t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量		t-CO ₂
六ふつ化硫黄の排出量		t-CO ₂
三ふつ化窒素の排出量		t-CO ₂
合 計		65 t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

原油換算で対前年比1%削減を目標として取組みを行ったが、令和4年度は前年度対比0.2%の微増、令和5年度は前年度対比4.6%の減となった。
令和5年度については目標を達成することができた。令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、講義室等の窓を開けながら空調稼働させたことや前年度よりも冬季の気温が低下したことなどが起因していると考えられる。

【具体的な取組状況】

①電気

- ・各場所の状況や時間に応じて間引き点灯
- ・パソコン、コピー機等の省電力設定、及び未使用時の電源OFFの励行

②空調

- ・未使用教室等の空調停止の推進及び、冷暖房運転の温度管理を徹底

③クールビズやウォームビズ

- ・教職員や学生に対し、夏季や冬季時に服装による体温調整を周知

④省エネに関する全学的取組

- ・省エネ推進委員を各学部、各室から選出し、全学的に節電等取組の周知を図った。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

コピー用紙はリサイクル用紙とし、両面コピーの徹底や裏紙利用等で資源削減に努めた。